

県北支部では、看護の日記念行事として「そばで支える看護の力」をテーマに看護の日フェスタ開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大によりやむを得ず中止と致しました。

2年連続で中止となり、しっかり準備をしてきた分とても残念に思います。

来年こそは開催できるようコロナの終息を願うばかりです。

せっかく準備してきましたので、予定していたフェスタ内容の一部を紹介させていただきます。



ふれあい看護体験を経て看護師として働く今

「ふれあい看護体験」を通し見学や看護体験、関係者との交流などを行うイベントに参加され、実際に看護師になられた方の当時の思い、そして現在の思いを聞いてみました。

S 病院勤務 Kさん

看護師になって10年経過しました。私は離島出身で、今思えば、たくさんの島の方たちに見守られながら過ごしていたのだと感じています。しかし当時の私は、島から出たくてしょうがない思いでいました。中学生の頃、祖父や従兄弟を亡くし、死について「悲しい」という風に思っていました。高校進学し、ふれあい看護体験を学校の先生に勧められ参加したことを覚えています。

看護師さんが毎日一生懸命に命と関わっているのを見て、看護師になりたいと将来の進路を決めたきっかけになったように思います。

高校卒業し看護学校へ進学しました。親に金銭面で苦勞をかけたくないと、働きながら通える学校を選択しました。時に落ち込む事もありましたが、友達がいて、実習では支え合い、助け合いながら乗り越えることができました。また、看護学校での体験は新鮮でした。命が生まれてくる場面にも立ち会うことができ、感動したことを覚えています。私は、今親となり、成長する命と向き合い騒がしい毎日を送っています。

看護学校卒業後、就職し急性期病棟へ配属されました。1年目はうまくいかない事が多く、泣いてばかりだったことを覚えています。同期や先輩に支えられて頑張ることができました。その中でも、死にゆく命に関わることもあり、もっと何かできたのではないかと後悔したこともありました。

現在、中堅看護師となりましたが、まだまだだなぁと思うことはたくさんあります。日々勉強になることばかりで、今でも辛いこともあります。様々な命と向き合い、所属している部署のスタッフと笑顔で働かせていただいていることに感謝しています。



H 病院勤務 Yさん

私は、小学生の頃入院した時、看護師さんに良くしてもらい看護師を志すようになりました。ふれあい看護体験で実際に白衣を着て病院の現場を見させていただき、実際に看護師の仕事を見せてもらって、改めて憧れが強くなりました。



そんな私も、今年で看護師 6 年目になりました。「患者さんがつらく苦しい場面で、一番そばにいて寄り添うことができる」「回復して元気になっていく姿を見ることができる」大変なこともあります、とてもやりがいのある仕事です。



H 病院勤務 Kさん

私は、中学生の頃から看護師を目指しており、高校生の時にふれあい看護体験に参加しました。それまでは、テレビやドラマでしか病院で働いている様子を見たことがありませんでした。



実際に現場を見てみて、循環器中心や消化器中心などそれぞれの病棟に特徴があることを知りました。

また、受付に来ていた患者さんが急変された際、迅速な看護師の行動に心を打たれ、私もそのような行動がとれる看護師になりたいと思いました。



現在は実際に看護師となり 9 年目、病棟で勤務しています。今でも、患者さんと接する中で「ありがとう」の一言に喜びを感じています。



看護専門学校に「ふれあい看護体験」や実習を経験され、
「なりたい看護師像」のイメージについて聞いてみました。

ふれあい看護体験と看護学校実習の感想

佐世保市立看護専門学校

2年生 Sさん

2019年 高校3年生の時に、
耀光リハビリテーション病院で参加しました。



ふれあい看護体験を行ったことと、看護学校での実習の違いは？

実際に患者さんと触れ合えたこと。

今後、あなたがなりたい看護師像はどのようにイメージしていますか？

何をするにも患者さんの安全・安楽を考えること。

患者さんの声に耳を傾けること。

環境をしっかりと整えることができる看護師になりたいです。